

建築設計業務委託料計算書
(建築物を新たに設計する場合)

委託業務の名称 沖永良部島漁協荷捌き施設新築工事実施設計委託業務

設計委託料	一金	円也	設計対象床面積
〔設計価格〕	一金	円也	(200 m ²)

K(設計委託料)	=	Y	+J	=	
J(消費税相当額)	=	Y	×	0.1	=
Y(設計価格)	=	(A	+B	+C	)
			+D	=	

A 直接人件費 = (計算書2) B 諸経費 = (計算書2)
= 0 = 0

C 技術料等経費 = (計算書2)
= 0

D 特別経費 341,020 + 0 = 341,020

出張旅費 85,255 × 4 = 341,020

その他の特別経費 0

- ① 一般業務に係る業務人・時間数
=((イ)一般業務に係る業務人・時間数)×(1-(ロ)一般業務に係る対象外業務率)
(イ)一般業務に係る総業務人・時間数:(別表2-1, 別表2-2)
(ロ)一般業務に係る対象外業務率:(別表2-3の設計業務に関する業務細分率に
ついて、当該業務内容の項目ごとに定める対象外業務率を乗じて算出した
低減後の業務細分率の合計)
- ② 追加業務に係る業務人・時間数 (実情に応じて算定)
- ③ 直接人件費単価 (別表1)
- ④ 技術料等経費率 (通常の場合は0.15以下とする。)

(計算書2)

$$A(\text{直接人件費}) = \{① + ②\} \times ③$$

$$= \{ \Sigma (\text{総合}(\text{イ}) \times (1 - \text{総合}(\text{ロ})) + \text{構造}(\text{イ}) \times (1 - \text{構造}(\text{ロ})) + \text{設備}(\text{イ}) \times (1 - \text{設備}(\text{ロ})) + ② \}$$

(A, (総合(イ) × (1 - 総合(ロ))), 構造(イ) × (1 - 構造(ロ)), 設備(イ) × (1 - 設備(ロ))及び②は, 小数点以下切り捨て)

$$(\quad 234 + 46 \quad)$$

$$B(\text{諸経費}) = A \times 1.1$$

$$C1(\text{技術料等経費}) = (A + B) \times ④$$

(小数点以下切り捨て)

$$Y(\text{設計価格}) = (A + B + C1) + D$$

(千円止め)

$$J(\text{消費税}) = Y \times 0.1$$

$$K(\text{設計委託料}) = Y + J$$

$$C(\text{技術料等経費}) = Y - (A + B) - D$$